

【事例発表資料】多面的機能支払交付金の取組状況

1. 組織の概要及び取組事例

活動組織名	津山農地水環境保全隊				市町村名	登米市津山町				
取組開始年度	19年度～		構成員		農業者	250名				
					非農業者	0名				
					団体	4団体 〈主な団体〉 水土里ネット、横山小学校PTA、 横山コミュニティ推進協議会				
認定農用地面積	田	87ha	畑	0ha	草地	0ha	計	87ha		
平成26年度 交付額	農地維持支払交付金				2,608千円					
	資源向上支払（共同活動）				2,087千円					
	資源向上支払（施設の長寿命化）				0千円					
① 地域の概要	本地区は宮城県登米市の南部に位置し、周囲を山地に囲まれた地形の水田地帯であり、道の駅津山「もくもくランド」を中心とした東西に広がる水田が活動地域となっている。									
② 取組概要	<p>ほ場整備後、農地集積により作業受託を受けた「(農)フォレストウインド津山」(平成19年設立)が中心となり、組織の構成員や農用地利用改善組合員等で協力し、農地及び農業用施設の保全・維持管理活動等を行っている。</p> <p>基礎活動では、排水路の土砂上げ、農道の草刈り・砂利敷き、農業用施設の点検を実施している。</p> <p>保全活動では、機能診断や生き物調査等、学校や地域と連携を図りながら実施している。</p>									
③ 取組の効果	本事業に取り組んでから地域が一体となり、農業の抱えている諸問題や課題の解決に向けた取り組みに大きく寄与している。									
④ 課題	作業に参加していただいている方が高齢化や委託農家が増加したことにより、作業への参加者が減少してきている。今後の活動を担う若年層が減少している中、後世にいかにして引き継いでいくかが課題である。									
⑤ その他	<p>学校教育において、自分の住んでいる地域の生態系を調査するうえで、小学生のうちから環境保全に興味を持ってほしく、横山小学校4年生を対象に生き物調査を行っており、学校や地域のコミュニティ推進協議会と協力し、地域の花壇への植栽活動や学校田を利用した小学生(4・5・6年生)の環境学習(田植え体験)なども行っています。</p> <p>また、本地域は中山間地であるため、大雨等による自然災害がたびたび発生し、農地や各施設に大きな被害をもたらすことがあります。</p> <p>こういったことを踏まえ、地域の環境を守るため、今後も活動を通して環境保全を維持することを心がけ、地域が一体となった農業に取り組みやすい体制を築いていきたいと考えています。</p>									

2. 取組の写真

	
① 水路の泥上げ作業	② 水路の草刈り作業
	
③ 農道の路面維持作業	④ 生き物調査(小学校)
	
⑤ 田植え体験(小学校)	⑥ 看板の設置